福島

―今こそ強い意志で見つめ直さねば

山崎 久隆

はじめに

りを破壊し、働く場も生産する場も奪い、日々 調査対象世帯は3024だった。答えが返っ 島県や原発震災被害地の住民の叫びでもある。 かる」であろうか。国は少なくても分かって 放射能の脅威にさらされながら生き続ける そうなると、帰還する人の数が未回答者から 回答の多くは県外避難者だったと思われる。 てきたのは、半数にも満たない1458、 とともに半数以上を占めた。大勢が帰らない 被害者」である。 発震災や、大事故を起こす可能性のある「再 いない。少しでも理解できるならば、再び原 決断をするとみられる。 と決めると、留保中の人々も「帰還しない」 旧のめど」が「放射線量の低下と除染の状況 稼働」に前のめりにはならないはずだから。 大勢出るとは考えにくい。地域社会のつなが しんどさ」を、私たちを含めてどれだけ どの程度の住民が戻るのか」「インフラの復 福島の人々は、「被災者」ではない。 原発震災の、真の恐ろしさがここにある。 飯舘村の人々の叫びは、 「犯罪 分

現在も破たん寸前の汚染水処理

事故から3年、いい加減に何とかなってい

る対策案も、 800トンもの汚染水が日々発生していると ちた。その結果、 部の燃料が崩壊し、 事故直後からの課題だった。3基の原子炉内 うな代物ばかりがならぶ。 いう。この状態が、 ど遠いことが分かるだろう。汚染水対策は、 事態が一進一退を繰り返し、抜本的対策にほ たら良い。さすがに東電の公式発表でさえ、 京電力のホームページの文章を読んでもらっ いたことも大問題だが、 でなく地下水も同程度流れ込み、 合わせて毎日300~400トン、注水だけ 大量の水を注水し続けることになった。3基 るだろうと思っている向きには、もう一度東 ちょっと待てと言いたくなるよ 燃料を冷やし続けるために 何の対策も無く3年間続 一部は格納容器に解け落 その後に予定して 合わせて

海側遮水壁

に地下水があふれかえるのではないかというに地下水があるれかえるのではないかというというである。これは地下水と汚染水が混じり合って海に流れているのを食い止めるために行なっている。一見効果があるように見えて、重大ないる。一見効果があるように見えて、重大ないる。一見効果があるように見えて、重大ない強度があるか、さらに大きな問題は、地下水の流れをここで阻止したら、4メートル盤、水の流れをここで阻止したら、4メートル盤を伸っている。こ

発の安全性に不安があることと、加えて水道

や食べ物や医療に大きな不安があることだ。

判断留保の36%、526人が「判断する上

でどんな情報を必要としているか」を見ると、

と決めている」人が戻りたい人を上回って

理由の中心は、放射能の脅威と、

福島原



作った。

昇傾向にある。ウエルポイントまで地下水が その影響かどうか、タービン建屋の水位が上 「ウエルポイント」という井戸や溝が掘られ ている。地下水が溢れてきたらここから回収 ポンプで汲み上げてタービン建屋に送る。 地下水位が上昇した。 下に合成樹脂製の壁を 盤凝固剤を注入し、地 部でも遮水壁を作った。 水ガラスと呼ばれる地 4メートル盤の陸上 4メートル盤には しかしその結

果

これを最初に作るべきと主張をしたのは実は 覚えている。 壁を海側に先行して作ると陸からの水をせき 止めてしまうから困難」と答えていたことを 市民側だったが、それに対して東電が それを誘発しかねないのが海側遮水壁だ。 「遮水

期は未定のままである。元々、地下に冷媒を 壁だが、実証試験を5・6号機側と共用プー がある。 無稽とも思える計画だ。これにも大きな問題 発の周囲1・5キロをこれで囲むなど、荒唐 せて、それでダムにするという計画だが、 送るパイプを打ち込み、土ごと地下水を凍ら 実証実験では固まった。 ル側で進めているが、10メートル四方程度の 今後話題の中心になるだろう、凍土式遮水 しかし本格実施の時 原

けて流れてしまっては意味を成さない。 地下水が別の場所に回り込み、結果として別 凍り始めたときに、凍った部分に阻止された 0 ど十分に1・5キロの壁状に凍るとは思えな 壁を凍らせ続けるために必要なエネルギー、 ていた凍土壁が決壊したらどうなるか。大量 同様に原発に流れ込む。さらに地下水を止め の水脈が形成される。この水が凍らなければ る地盤、ない地盤、高さ、方向も複雑に混合 下を一様に流れているわけではない。 なる。地盤の上部を凍らせたら下をくぐり抜 方向にどれほどの凍土壁を作るのかも問題に の地下水が流れてしまうかも知れない。 下水豊富の原発敷地でも、地下水を止めるほ しているのが普通だ。いくら沼地のように地 まず、そんなにうまく地下水が凍るかどう やってみないと分からない。地下水は地 問題はいくつもある。 例えば、まだらに 水のあ

り地下トレンチが浮上、あちこちで分断され

内部の汚染水が地上に噴出することにな

にも達する高濃度汚染水であり、

液状化によ

道)に溜まる1リットルあたり何億ベクレル 地下水は、その下に埋まっているトレンチ(隊

つまり消費電力量がどのくらいになるかも懸

らないが、原発周辺は瓦礫と汚染土壌に覆 だ。このような放射能の塊のあるところで土 筒は、全体が高濃度汚染物であり、 木工事など出来ない 近づくどころか、数メートルで死に至る線量 る。ミリでもマイクロでもない。これは人が い場所の表面線量が推定25シーベルトに達す われている。 ある。原発周辺1・5キロを囲まなければな 実は、この 凍土壁、 特に1・2号機の間に立つ排気 最大の問題は作 地上に近 :る時

労働力不足と杜撰な被曝管理

地表近くまで地下水に覆われた「沼地」であ

れない。そこで作業をする人々にとって、 る。大きな地震により、液状化することは免

極

めて危険である。

何しろ、液状化で噴出する

溜まっていると言うことは、

4メートル盤は

え、危険な作業がますます危険になる。これ を上げるべきだ。 境で働けるように、 郷を守りたいと、過酷な低賃金でも働く人が 実は、働く人の6割は福島出身だという。故 る。 いる。少しでも安心できる、保障の整った環 ら働き続ける人が、どれほどいるだろうか。 から何十年にもわたり、大変な被曝をしなが 長く働けない。当然、経験不足の労働者が増 毎日3000人の労働者が福島を支えてい しかし熟練者は被曝線量が増えてしまい 外にいる私たちこそが声

被曝に起因する疾病への補償体制を整え、 任せて良いわけがない。国が責任を持って、 とはない。 の案内状などが送り返されても自ら調べるこ 東電は被曝管理も下請け任せで、 被曝管理を営利目的の派遣会社に 健康診断

供も筆者 それは恐ろしい事態を引き起こすことになる。 十年どころか数年先に、 電に代金を負担させるべきだ。このままでは何 (やまさき・ひさたか/たんぽぽ舎副代表、写真提 働く人がいなくなる。

川内原発再稼働を止めましょう

向原 祥隆

囯 電力、 県一体となった動き

了承するということです。 働について判断する旨表明しました。つまり、 の年頭会見で、6月県議会で川内原発の再稼 郎鹿児島県知事は、 今年1月6日

議会でゴーサインを出すというもの。 による説明会を3回、アリバイ的に開催 3月の規制委員会の審査終了を前提に、国

ています。 (毎日)と規制委員会を持ちあげる発言までし 「世界に類を見ない極めて微に入った審査」 13 日、 会は、 に審査することを決め 発1、2号機を優先的 それを受けて、3月 九州電力川内原 原子力規制委員

> う。今まさになりふり構わず、 稼働させるというわけです。 こうした流れは、年末のうちに密かに練ら 国 電力、県の間で合意されたのでしょ 再稼働につき

知られていない海洋環境破壊

進んでいます。

釣り雑誌にもたびたび紹介されるほど。 釣り人の間では有名な釣り場となっています。 冬場、川内原発の温廃水の放水口周辺は、

温の高いところを好む魚たちなのです。原発 系で、夏に日本周辺まで北上し冬場に海水温 ぜ他所では釣れないのか。これらの魚は南方 環境破壊でなくて何なのでしょうか。 周辺が高温化して冬場も集まっているのです。 が低下すると死んでしまう死滅回遊魚や、 ロウニンアジなどが大量に釣れるのです。 他所では釣ることのできないカスミアジ、 いないはずの魚が、うようよいる。 これが 水

寄田町に住むウミガメ監視員の中野さんが記 ます。2009年の1年だけで29匹も死んで 録しているサメの死亡漂着の数には驚かされ の数は数百匹に上ります。 打ち上げられました。エイやダツの死亡漂着 異変は、それだけではありません。現地の

属イオン、④温廃水に混ぜて投棄される放射

⑤取水時に連行されるプランクトンや魚

がパイプを通過する際におきる減肉由来の金

7度上昇とされている熱、

②パイプに貝類

③高速の海水

大学名誉教授が指摘するのは、

温廃水の問題点として、

水口憲哉東京海洋

次の5点。①

つまり温廃水として海に捨てています。

の1を電気にするだけで、

残りの3分の2は

16

付着を防止するための塩素剤、

例がないと言います。 によれば、大量のサメの死亡漂着は世界にも 児島県のどこにもありません。サメの研究者 このような死亡漂着の見られる海岸は、 原発は核燃料を燃やしたエネルギーの3分 鹿

哉名誉教授は指摘します。

サメなどの死亡原因は特定されていません

卵の死滅。

温廃水との関連は間違いない、と水口憲

ちなみにこの死亡漂着は、

川内原発が稼働

停止して以降、

一匹も見られません。

ました。川内を皮切り

日本中の原発を再